

## 事業評価及びPFS導入に向けた事業設計業務仕様書

## 1 事業目的

本業務は、みさと Play & Link プロジェクトにおいて実施する各種取組の効果を客観的かつ継続的に把握し、事業目的の達成状況を検証するとともに、令和9年度以降に導入を予定している成果連動型民間委託契約方式（以下、「PFS 事業」という。）の実施に向け、成果指標、評価方法、データ取得方法、成果判定の考え方及び事業スキームを検討することを目的として実施するもの。

## 2 実施期間

契約締結日から令和9年3月31日までとする。

## 3 業務内容

## (1) 事業評価業務

みさと Play & Link プロジェクトにおいて実施する各種取組を評価し、地域未来交付金の実施計画書に掲げるKPI①～KPI④に対して効率的かつ効果的に事業を実施しているか評価するものか評価するもの。また、事業の進捗状況やこれまで美里町で実施した取組を踏まえ、より効果的な取組について検討し、提案するものとする。

- ・ KPI①：住民主体の地域生活支援拠点の創出数
- ・ KPI②：地域交流事業への参加人数（新規）
- ・ KPI③：地域コミュニティ活動の担い手の人数
- ・ KPI④：地元商店の売上増加額

## (2) PFS 事業の設計業務

## ① 事業ロジック及び評価モデルの整理

本事業の目的、対象者、実施内容及び期待される成果を踏まえ、各取組がどのような過程を経て成果に結びつくのかを整理すること。

整理にあたっては、事業実績を把握するだけでなく、参加、認知、継続、交流、行動変容、健康意識、地域への愛着、地域とのつながり等の中間的な変化を含め、事業効果の発現過程を可視化すること。

また、必要に応じて、因果ダイアグラム等を用いて、事業、初期アウトカム、中間アウトカム、長期アウトカムの関係を整理すること。

## ② 評価指標及び成果指標候補の検討

上記業務を実施した上で、本事業において測定すべき評価指標及び成果指標候補を整理すること。指標の整理にあたっては、以下の観点を踏まえること。

- ・本事業の目的との関連性
- ・短期的に測定可能な変化と、中長期的に期待される成果との関係性
- ・客観的な測定可能性
- ・継続的なデータ取得の可能性
- ・町及び参加者の負担
- ・将来的な成果連動支払への活用可能性
- ・既存調査、先行研究、標準的な質問票等との整合性

なお、成果指標候補としては、参加者数、継続参加状況、健康意識・行動変容、運動習慣、主観的健康感、社会参加、地域とのつながり、ソーシャルキャピタル、シビックプライド、地域への愛着、担い手化等を想定し、町と協議の上、適切な指標を整理すること。

また、子供向け事業など医療費・介護給付費等の適正化との直接的な関係を短期間で評価することが困難な取組については、年齢層や事業特性に応じた中間アウトカムまたは代替指標を設定すること。

### ③ ベースライン調査及び効果測定方法の設計

受注者は、事業開始前又は事業初期段階における参加者の状況を把握するため、ベースライン調査の設計を行うこと。

調査設計にあたっては、事業参加者のみならず、必要に応じて町全体の変化を把握できる方法を検討すること。また、事業参加の有無、事業の認知状況、参加頻度等を把握し、事業効果を分析する際の比較・検証に活用できるよう設計すること。

アンケート調査を実施する場合は、対象者の属性に応じて、紙媒体、オンライン、学校等を通じた回答方法など、適切な手法を検討すること。

### ④ データ収集及び分析方法の検討

受注者は、アンケート、ヒアリング、参加者名簿、参加実績、活動記録ポイント事業等から取得可能なデータ、町が保有する既存データ等を活用し、事業評価に必備に必要なデータ収集方法を検討すること。

分析にあたっては、町全体の前後比較を基本としつつ、必要に応じて、事業への参加有無、認知状況、参加頻度、実施内容、対象者属性等による比較分析を検討すること。

ただし、本業務は実証段階であることから、評価結果をもって事業効果を断定するのではなく、今後のPFS導入に向けた指標の妥当性、データ取得可能性、分析上の課題を整理すること。

### ⑤ PFS事業実施に向けた考え方の整理及び実施方法の提案

受注者は、上記を踏まえ令和9年度以降のPFS事業の実施にあたり、成果指標、評価対象者、評価時期、評価方法、成果判定の考え方、支払条件の設定方法、

固定支払と成果連動支払の考え方等について整理すること。

#### 4 報告書の作成

上記業務をとりまとめ、報告書を作成し、提出すること。